

平成29年度 大分市公共下水道事業会計 当初予算のポイント

経営状況等

平成29年度大分市公共下水道事業会計当初予算につきましては、収益的収支で約8千万円の純損失を計上しますが、内部留保資金繰越額は約**1億6千万円**を確保する見込みです。

公共下水道事業は、整備費の財源に活用した企業債の償還費が事業経営にとって大きな負担となっており、今後さらに普及率の向上に努める必要がある中、施設の老朽化に伴い改築更新費の増加が見込まれています。

こうしたことから、平成24年度から平成29年度を計画期間とした「大分市公共下水道事業中期経営計画」を策定し、公共ますへの早期接続や使用料収納率の向上をはじめ、業務執行方式の見直し、職員の適正配置等、経営健全化に向け積極的な取組みを進めています。

大分市公共下水道事業中期経営計画の取組み

	目標（平成29年度）	平成29年度当初予算
人口普及率	61.9%	62.6% (平成28年度末見込み)
水洗化率	91.7%	88.8% (平成28年度末見込み)
収支バランス	収益的収支を「黒字」	△80,522千円
一般会計繰入金	基準外繰入金を「0」	413,294千円

※平成29年度に中期経営計画の計画期間等の見直しと、新たな経営目標を掲げる次期経営計画の策定準備作業に着手し、平成30年度に「上下水道事業経営戦略」の策定を計画している。

平成29年度 当初予算の状況

(単位：千円)

区分	平成29年度	平成28年度	増減	説明
収入 (消費税抜き11,743,246)	12,151,317	11,914,769	236,548	使用料収入 5,515,472 基準外繰入金 413,294
支出 (消費税抜き11,823,768)	12,051,973	12,048,811	3,162	
収益的収支	99,344	△134,042	233,386	
当期純損益(消費税抜き) ①	△80,522	△277,452	196,930	
収入	7,091,122	6,381,589	709,533	国庫補助金 1,577,585 企業債 3,704,300
支出	10,781,027	9,990,189	790,838	建設改良費 4,665,771 企業債償還 6,080,257
資本的収支 ②	△3,689,905	△3,608,600	△81,305	
補てん財源				
消費税調整額	179,866	143,410	36,456	
前年度からの繰越財源	1,149,842	1,281,451	△131,609	
当年度損益勘定留保資金	3,604,991	3,682,743	△77,752	長期前受金戻入を除く
計 ③	4,934,699	4,964,194	△29,495	
翌年度への繰越金 ①+②+③	1,164,272	1,078,142	86,130	

主な事業

≪ 収益的収支 ≫ 下水道施設の維持管理など、日常の事業活動に伴う収支

(主な支出)

- 水資源再生センター包括維持管理業務委託 1,249,708千円
- 汚泥運搬・処分業務委託 501,048千円
- 水道局使用料徴収事務委託料 225,352千円

≪ 資本的収支 ≫ 下水道施設の建設・改良など、投資にかかる収支

(主な支出)

- 汚水管渠建設費(新設管渠) 2,326,900千円
- 賀来古国府汚水幹線(10工区)工事関連 273,000千円
- 大道弁天汚水幹線耐震化工事 30,000千円
- ふじが丘地区外4地区マンホール改築工事 80,000千円
- 原川水資源再生センター中央監視設備改築工事 100,000千円

(平成29年度～平成30年度 実施事業)

企業債残高の状況

(単位：千円)

区分	平成29年度			平成28年度	増減
	計	汚水	雨水		
企業債残高	85,671,561	61,391,326	24,280,235	88,384,516	△2,712,955